

政策体系	No.	120-010	事務事業名	災害時備蓄品整備事業	所属部	総務部
	政策名	01	快速で魅力あるまちづくり		所属課	安心安全課
	施策名	04	防災対策の推進		課長名	尾堂 守
	基本事業名	01	防災関連施設の整備		所属G(係)	防災グループ
					電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠
	一般	09	01	04	133010	水防防災事業	災害対策基本法

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
災害時において必要な資材(ビニールシート、土嚢袋等)や食糧(アルファ米)の備蓄を行う。また、市の備蓄を補充する目的としてスーパー等との災害時の物資支援協定を締結する。 備蓄食糧 H21.3月現在 3,947食(アルファ米、乾パン) 各総合支所に配備済。 備蓄資材 H21.3月現在 土のう袋、ビニールシート、ロープ、木杭、スコップ、つるはし、鎌、毛布、掛矢等	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様。	ア 備蓄食糧購入量	食
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	昨年度と同様。	イ 物資支援協定締結事業者数	社
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	災害時備蓄品	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	備蓄される。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	必要な施設や資機材が整う。	名称	単位
		ア 食糧備蓄量	食
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 食糧の備蓄率	%
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 目標に対する備蓄率	%
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円			
		都道府県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円			
		一般財源	千円	85	408	714
	事業費計(A)	千円	85	408	714	93
活動指標	ア 食		350	1,400	700	400
	イ 社		11	11	11	11
	ウ					
対象指標	ア 食		591	1,991	3,947	4,000
	イ					
	ウ					
成果指標	ア %		0	2	3	3
	イ					
	ウ					
上位成果指標	ア %			52	100	100
	イ					
	ウ					

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 災害時における、避難所生活での長期化等を想定しそれらに対応するため必要最低限の食糧や資材を備蓄しておく必要があることから、開始年度については不明。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 今後、高齢者を含む災害時要援護者等、避難の際何らかの支援を要する人が増加してくると思われる。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 議会及び住民等から避難所での食事提供の在り方についての市の考え方を求められた。(避難が長期化した場合の食事提供を基本とし、状況に応じ対応することとした。)

事務事業名	災害時備蓄品整備事業	所属部	総務部	所属課	安心安全課
-------	------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘	災害発生に備え住民のために食糧等の備蓄等を行うことは、災害時に必要な資機材が整うことに結びつく。
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘	災害発生に備え住民のために食糧等の備蓄等を行うことは、市の防災対策の一環である。
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘	災害発生に備え行うものであり、対象・意図ともに適切である。
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘	災害の規模や被災地の状況により、必要とされる備蓄量は異なるが、大規模な災害が発生した場合の備蓄量としては十分ではないと思われる。しかし、備蓄食糧には賞味期限等があり、処分を考慮した場合、大量に備蓄しにくいことと本市においては、大規模災害等が発生した場合に備えて食糧等を優先的に提供してもらうための協定を市内の大手スーパー等と締結していることから、現状で対応可能と思われる。
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘	災害発生時に、食糧や資材の迅速な供給が困難となる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘	避難所への迅速な食事の提供を考慮した場合、市が備蓄しておくことが不可欠である。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘	事業費を削減した場合、備蓄量が減少してしまうので、削減余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘	備蓄品の購入や管理が主なものであるが、業務については必要に応じて行うものであり削減余地はない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘	災害発生時の避難者、被災者は全て備蓄品を供給する対象となるため、受益機会は均等である。また、費用負担を求めるものではない。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																											
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	備蓄量が多いほどよいが、賞味期限があるため量の確保については必要最低限とする必要がある。																												
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																											
		削減	維持	増加																									
成果	向上																												
	維持																												
低下	維持																												
	低下																												
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 (霧島市の備蓄量異常を必要とする災害が発生した場合の方針) 霧島市の備蓄量以上を必要とする災害が発生した場合には、本市が大手スーパー9社と締結している「災害時における食糧等物資の供給協力に関する協定」に基づき、速やかに食糧の確保を行い、市民の避難生活の安定を図ることとする。																													

No.	120-030	事務事業名	防災行政無線運営事業			所属部	総務部	
						所属課	安心安全課	
政策体系	政策名	0	1	快適で魅力あるまちづくり			課長名	尾堂 守
	施策名	0	4	防災対策の推進			所属G(係)	防災グループ
	基本事業名	0	1	防災関連施設の整備			電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠		
	一般	0	9	0	1	0	4	133010	水防防災事業

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
防災行政無線(災害などから住民を守るために、災害情報などを無線を利用して住民に伝えるための設備)の整備と点検を行い、災害へ対応できる能力を維持する。災害情報の発信は、本庁並びに各総合支所から行うが現状市内の防災行政無線の受信に関しては、以下の4つのパターンがある。 各戸に個別受信機を設置し、かつ屋外拡声器を整備している地域(横川、溝辺、福山) コミュニティ無線を利用し個別受信機を設置している地域(牧園) *コミュニティ無線は別の事務事業 公民館長宅及び消防団等に受信機を配備している地域(国分) 消防団等に受信機を配備している地域(隼人、霧島)		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 2 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	専門業者へ委託し、防災行政無線の整備と保守点検を実施した。	ア 保守点検回数	回
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様。	イ 新設や改修を行った個別受信機の数	機
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市内に設置されている防災行政無線施設 市内の全世帯	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	常時有効に使用できるような状態を保つ 全ての世帯が災害情報を受信できるようになる	ア 防災行政無線施設数	箇所
結果(どんな結果に結び付けるのか)	必要な施設や資機材が整う。	イ 市内の世帯数	世帯
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 常時運用可能な台数/全施設数	%
		イ 災害情報を受信できる世帯数(無線、有線受信機)	世帯
		ウ 防災行政無線整備率 = イ/全世帯数	%
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 防災関連施設整備の計画に基づく整備率	%
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	千円		1,827	
		国庫支出金	千円			
		都道府県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円			
		一般財源	千円	15,871	20,852	16,402
	事業費計(A)	千円	15,871	22,679	16,402	13,639
	人件費					
活動指標	ア 回		25	15	7	7
	イ 機		216	228	361	300
	ウ					
対象指標	ア 箇所		9,284	9,309	9,339	9,369
	イ 世帯		53,129	53,583	53,893	54,170
	ウ					
成果指標	ア %		100	100	100	100
	イ 世帯		33,505	31,422	31,766	33,766
	ウ %		63.06	59	59	62
上位成果指標	ア %		61	61	61	66
	イ					
	ウ					

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
災害対策基本法の定めに基づいて、災害情報を迅速かつ確実に伝達するために、合併前の各市町で平成2年ごろから整備され始めた。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
近年の災害等により、情報伝達の重要性が問われ始め、市民の防災無線等への関心も高まっている。今後無線を現在のアナログ方式からデジタル方式へ移行する必要がある。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
霧島市の防災行政無線等の整備について、市民から「どのような整備計画があるのか」という問い合わせがある。

事務事業名	防災行政無線運営事業	所属部	総務部	所属課	安心安全課																					
2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																										
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?																								
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘ なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?																								
	対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?																								
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?																								
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?																								
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↘ <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ無線 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?																								
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)																								
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)																								
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?																								
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																										
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		・防災行政無線によって伝達される災害情報は、一般住民の世帯だけではなく市内の事業所等にも伝える必要がある。 ・整備に関しては、防災行政無線だけではなく、災害情報を伝達することが可能な他の手段についても検討する必要がある。 ・個別受信機の未整備地区の問題は早急に対応し、災害情報を市民全てが同じレベルで受信できるようにする必要がある。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
(5) 改革・改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 ・地域の土地の保全と住民の生命、身体及び財産を保護するうえで防災行政無線に関する部分の整備は市の責務で行う必要があるが、防災行政無線の整備はかなりの事業費を伴うこととなるので、簡易無線の戸別受信機との連携による情報伝達のシステムなどを構築していく必要がある。																										

No.	120-050	事務事業名	特殊地下壕対策事業	所 属 部	総務部
				所 属 課	安心安全課
政策体系	政策名	0 1	快適で魅力あるまちづくり	課 長 名	尾 堂 守
	施策名	0 4	防災対策の推進	所 属 G (係)	防災グループ
	基本事業名	0 2	災害危険箇所の整備	電 話 番 号	45-5111

予算科目	会 計 款	項 目	事 業 名	法令 根拠
	一般	0 9 0 1 0 4	133010 水防防災事業	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
戦時中に造られた地下壕のうち危険性のあるものについての実態把握と入口封鎖等の安全対策の実施。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 49 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

<p>(1) 事務事業の目的と指標</p> <p>手段(主な活動)</p> <p>20年度実績(20年度に行った主な活動) 住民からの相談により、地下壕の存在の有無についての調査及び、入口封鎖の必要性のある地下壕についての対策を検討。21年度に県の事業を活用して対応する予定。</p> <p>21年度計画(21年度に計画している主な活動) 国分地区の2箇所の地下壕について入口封鎖と存在の有無についての実態調査をそれぞれ行う。</p> <p>対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 地下壕</p> <p>意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 地下壕を原因とする災害が発生しないように安全対策が講じられる。</p> <p>結果(どんな結果に結び付けるのか) 安全性が確保される。</p>	<p>活動指標(事務事業の活動量を表す指標)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 霧島市の特殊地下壕の個所数</td> <td>個所</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>対象指標(対象の大きさを表す指標)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 危険性のある地下壕の数</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア のうち入口の封鎖がしてある地下壕の数</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 危険箇所数に対する整備済箇所数の割合(特殊地下壕)</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア 霧島市の特殊地下壕の個所数	個所	イ		ウ		名称	単位	ア 危険性のある地下壕の数	箇所	イ		ウ		名称	単位	ア のうち入口の封鎖がしてある地下壕の数	箇所	イ		ウ		名称	単位	ア 危険箇所数に対する整備済箇所数の割合(特殊地下壕)	%	イ		ウ	
	名称	単位																															
	ア 霧島市の特殊地下壕の個所数	個所																															
	イ																																
	ウ																																
	名称	単位																															
ア 危険性のある地下壕の数	箇所																																
イ																																	
ウ																																	
名称	単位																																
ア のうち入口の封鎖がしてある地下壕の数	箇所																																
イ																																	
ウ																																	
名称	単位																																
ア 危険箇所数に対する整備済箇所数の割合(特殊地下壕)	%																																
イ																																	
ウ																																	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)		
投入量	事業内訳	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円				550	
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円				550	
	事業費計(A)	千円	0	0	0	1,100		
			0	0	0	0		
			0	0	0	1,100		
活動指標	ア 個所		105	105	105	105		
	イ							
	ウ							
対象指標	ア 箇所		34	38	38	40		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア 箇所		34	38	38	40		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア %		32	36	36	38		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 市街地に現存する特殊地下壕で陥没等により事故等が発生していることを受けて、昭和49年に国が特殊地下壕の危険性を解消するために地方公共団体が実施する事業に補助を行うこととしたことによる。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 陥没の恐れのある地下壕等の存在については、把握されなかったが、通常防空壕と呼ばれ中にはいれるもので危険性の恐れのあるものについては、入口封鎖などの措置をおこなった。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 監査委員から現況(封鎖していない箇所の安全性)について質問があった。

事務事業名	特殊地下壕対策事業	所属部	総務部	所属課	安心安全課																				
2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																									
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?																							
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘ なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?																							
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?																							
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?																							
	廃止・休止の成果への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?																							
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?																							
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)																							
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)																							
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?																							
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																									
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		現時点で危険と判断される地下壕(防空壕)については、入口の封鎖などを行ったり、個人で管理されていたりしているので、問題はないと思われるが、個人で管理されている分について、その後管理がなされていないものがないか等の調査も必要である。																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 鹿児島市で発生した地下壕内での中学生の死亡事故があるように、地下壕内は危険なため、現在土地所有者に管理を任せているもので管理されなくなったりした場合の対処が速やかに行えるよう定期的な実態調査を実施する必要がある。																									

No.	120-100	事務事業名	自主防災組織育成事業	所属部	総務部
				所属課	安心安全課
政策体系	政策名	0 1	快適で魅力あるまちづくり	課長名	尾堂 守
	施策名	0 4	防災対策の推進	所属G(係)	防災グループ
	基本事業名	0 3	防災関係機関・団体等と連携した体制づくり	電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	災害対策基本法
	一般	0	9	0	1	0		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
地域住民にとって、防災とはそれぞれの生命、身体、財産を守る上で最も基本的な問題であり、自分達の地域は自分達で守ろうという連帯意識がなければならぬ。このような連帯意識を醸成し地域の防災力を高めるために、既設の自主防災組織や地区自治公民館等を核とした防災対策を充実させるための活動の支援を行う。 自主防災組織の活動(平常時)・防災知識の普及(出前講座の要請等)・地域の災害危険の把握・防災訓練・火気使用設備器具等の点検・防災資機材の備蓄 (災害時)・情報の収集・出火防止、初期消火・避難活動		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 6年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 自主防災組織(地域の安全を地域で守るといふ目的で地域の人達によって自主的に結成された組織)の設立に向けた地区の会合への参加や強化のための支援を行ったほか、コミュニティ事業等の導入により自主防災組織へ資機材の提供を行った。 21年度計画(21年度に計画している主な活動) 自主防災組織の育成強化のため、引き続き防災出前講座を行うほか、防災訓練への参加により災害対応力の向上を図る。 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市民、自治会等 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 自主防災組織に対する認識を深め、正しい防災知識を身につけてもらい、既存の組織の見直しを図りながら災害に強い地域社会をつくる。 結果(どんな結果に結び付けるのか) 災害に対処できる組織・体制が整う。		名称 ア 地区の会合等への参加等 単位 回 イ 防災出前講座 単位 回 ウ 資機材の提供 単位 地区 対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 ア 世帯数 単位 世帯 イ 人口 単位 人 ウ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 ア 自主防災組織に加入している世帯数 単位 世帯 イ 単位 ウ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 名称 ア 地域の自主防災組織率 単位 % イ 単位 ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円		1,000				
		一般財源	千円	132	252	161	190		
	事業費計(A)	千円	132	1,252	161	190			
				0	0	0	0		
				132	1,252	161	190		
	活動指標	ア	回	3	5	6	10		
		イ	回		10	15	20		
ウ		地区	0	2	0	0			
対象指標	ア	世帯	56,117	56,476	56,829				
	イ	人	127,941	127,736	127,811				
	ウ								
成果指標	ア	世帯	53,431	53,793	55,113				
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	%	95	95	97	97			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
自主防災組織は、地域の防災力向上のために平成5年の風水害等を機にある程度は組織されてきたが、合併により、霧島市が鹿児島県第2位の広大な面積を有することとなり、さらにその組織の充実と災害への対応能力を強化する必要があるため。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
地区自治公民館等で自主防災組織の重要性についての関心が高まっている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
地区自治会等から自主防災組織に関する問い合わせや防災の出前講座等の要請がなされる。	

事務事業名	自主防災組織育成事業	所属部	総務部	所属課	安心安全課																				
2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																									
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?																							
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘ なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?																							
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?																							
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?																							
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?																							
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?																							
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)																							
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)																							
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?																							
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																									
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		自主防災組織の組織率は高いものの、各組織間での活動には差があり、それは地域の防災力にも比例してくるので、防災出前講座等の事業をしながら、組織の活性化のための取り組みを充実させるほか、新たな組織の結成も推進していく必要がある。																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																									
自主防災組織が成熟した組織として地域において防災活動を行うようになるためには、強力なリーダーシップを有するものの存在が大きいため、地区内で防災対策を実行するうえで核となる人の要請が重要である。市では、県が実施する地域防災推進委員等の養成講座に毎年地域の中から参加してもらうよう働きかけを行っている。																									

No.	120-110	事務事業名	防災訓練事業			所 属 部	総務部				
		政策名	0	1	快適で魅力あるまちづくり	所 属 課	安心安全課				
		施策名	0	4	防災対策の推進	課 長 名	尾 堂 守				
基本事業名	0	5	防災知識の普及啓発		所 属 G (係)	防災グループ					
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令				
	一般	0	9	0	1	0	4	133010	水防防災事業	根拠	災害対策基本法

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
万一の災害発生に備え市民や警察、消防、自衛隊等防災関係機関の連携を確認しながら、避難や救助等の訓練を行う。 ・霧島市総合防災訓練。 ・土砂災害・全国統一防災訓練。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部 (DO)																																	
(1) 事務事業の目的と指標																																	
手段 (主な活動) 20年度実績 (20年度に行った主な活動) 隼人地区において総合防災訓練を実施。 参加機関数 14団体 参加者数 670名	活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 防災訓練実施数</td><td>回</td></tr> <tr><td>イ 訓練参加者数</td><td>人</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table> 対象指標 (対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 訓練参加団体数</td><td>団体</td></tr> <tr><td>イ 人口</td><td>人</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table> 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 災害に対する必要な知識やとるべき行動が身についた人</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table> 上位成果指標 (結果の達成度を表す指標) <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 防災に対する意識の向上がなされた市民の割合</td><td>%</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア 防災訓練実施数	回	イ 訓練参加者数	人	ウ		名称	単位	ア 訓練参加団体数	団体	イ 人口	人	ウ		名称	単位	ア 災害に対する必要な知識やとるべき行動が身についた人	人	イ		ウ		名称	単位	ア 防災に対する意識の向上がなされた市民の割合	%	イ		ウ	
名称		単位																															
ア 防災訓練実施数		回																															
イ 訓練参加者数		人																															
ウ																																	
名称		単位																															
ア 訓練参加団体数	団体																																
イ 人口	人																																
ウ																																	
名称	単位																																
ア 災害に対する必要な知識やとるべき行動が身についた人	人																																
イ																																	
ウ																																	
名称	単位																																
ア 防災に対する意識の向上がなされた市民の割合	%																																
イ																																	
ウ																																	
21年度計画 (21年度に計画している主な活動) 土砂災害全国統一訓練を福山地区にて実施予定。																																	
対象 (誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 市民、防災関係機関																																	
意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか) 災害に対する必要な知識やとるべき行動が身につく。																																	
結果 (どんな結果に結び付けるのか) 防災に対する正しい理解を深め、対応力を高める。																																	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	745	0	506	0		
	事業費計 (A)	千円	745	0	506	0			
活動指標	ア	回	1	1	1	1			
	イ	人	800	130	670	80			
	ウ								
対象指標	ア	団体	23	4	14	5			
	イ	人	127,615	127,773	127,450	128,383			
	ウ								
成果指標	ア	人	800	130	670	80			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	%	68.3	68.3	69	71			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	
災害対策基本法により、防災訓練が義務付けられているため、これに基づき実施している。開始年度については不明。	
事務事業を取り巻く状況 (対象者や根拠法令等) はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
近年、温暖化等の異常気象などによりゲリラ豪雨などの驚異的な降雨が見られ、災害の発生頻度も高くなることなどから、多くの住民参加のもと、実際の災害時での住民の避難行動が円滑に実施できるような訓練が必要と思われる。	
この事務事業に対して関係者 (住民、議会、事業対象者、利害関係者等) からどんな意見や要望が寄せられているか？	
消防団から、平日の訓練はサラリーマンも多いため参加者の確保が厳しいので日曜日等に実施して欲しい、との要望がある。	

事務事業名	防災訓練事業	所属部	総務部	所属課	安心安全課																									
2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																														
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 防災訓練を実施することにより、市民の防災意識が高まり、災害に対する必要な知識やとるべき行動が身につくので、防災に対するより正しい理解を深め対応力を高めることに結びつく。																												
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 災害対策基本法に基づき市の防災計画に定められた市が行うべき防災対策である。																												
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 災害に様々な立場で対応すべき防災関係機関や市民を対象としており、対象としては適切である。また、防災訓練により、いざという時の対応力を高めることを事業の目的としているので、意図についても適切である。																												
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 防災訓練の目的のひとつに「住民避難」を掲げており、今回もそれらに留意して訓練を実施したが、避難情報等を伝達するための防災行政無線等の整備がなされていないため、情報伝達訓練等の充実が図られていない。																												
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 平時より訓練等を実施していないと、災害発生時の対応力が向上しない。																												
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷																												
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費は、訓練に必要な資材購入や訓練会場設営に要する必要経費であり、削減の余地はない。																												
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 平成20年度の総合防災訓練の実施においては、職員も削減されたなかで効率的に業務時間を配することが要求され、それらに対応できる体制で行ったのでこれ以上の削減余地はない。																												
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 災害が発生する恐れのある災害危険箇所付近に居住する住民等を対象に防災訓練を実施していく予定であり、訓練対象者については訓練の主旨等からして不公平ではない。また、災害対策基本法に基づき、市の防災計画に定めている市が行うべき防災対策なので、当然、費用負担を求めるものでもない。																												
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																														
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																												
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		前回の訓練と比較して、今回はさらに訓練内容をより実践に近いものとし、多くの住民を参加させる避難訓練等も実施されたのでより効果的な訓練になったと思われる。																												
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																												
		削減	維持	増加																										
成果	向上																													
	維持																													
低下	維持																													
	低下																													
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 防災行政無線運営の事務事業による防災行政無線未整備地区の速やかな整備。																														

No.	120-120	事務事業名	災害時重機借上事業				所属部	総務部			
							所属課	安心安全課			
政策体系	政策名	0	1	快適で魅力あるまちづくり			課長名	尾堂 守			
	施策名	0	4	防災対策の推進			所属G(係)	防災グループ			
	基本事業名	0	7	災害復旧対策の推進			電話番号	45-5111			
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令				
	一般	0	9	0	1	0	5	134010	災害対策経費	根拠	霧島市宅地災害復旧重機借上料及び応急仮復旧に対する原材料支給支援に関する要綱
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間				
災害によって、裏山等が崩れ宅地に土砂等が流入した場合などに、その土砂を除去するために使用した重機の借上料や被害拡大防止のために購入する必要な原材料(ビニールシート、土のう袋等)について、市が負担するもの。事務手続きとしては、災害の被害にあった世帯からの要請を受け自治会長等が本庁または支所で申請を行うもの、支給要件として地区内に自主防災組織が結成されていること、2次災害により他人の人家等へ被害が拡大する恐れのあるもの、復旧には自治会等がボランティアで関わることなどが定められている。上限は、重機3台、最大5日間まで。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 17 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)				

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

手段(主な活動)	S H	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 国分地区8件、隼人地区2件、溝辺地区2件、横川地区1件 計13件の利用があった。		名称	単位
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 事務事業の概要と同様	⇒	ア 支援件数	件
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 自主防災組織が結成されている地域内での被災箇所(宅地等)	⇒	イ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 復旧される(敷地内の土砂や倒木等が取り除かれる、浸水を防ぐなどにより安全が確保される)	⇒	ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 被災箇所が復旧される。	⇒	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	単位
		ア 自主防災組織が結成されている地域内での被災箇所数	申請件数 件
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 復旧できた件数/申請件数	%
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 復旧率	%
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	169	241	1,503	1,800		
事業費計(A)		千円	169	241	1,503	1,800			
人件費									
活動指標	ア	件	5	3	13	10			
	イ								
	ウ								
対象指標	ア	件	5	3	13	5			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	%	100	100	100	100			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	%	100	100	100	100			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 被災者の経済的負担を軽減するとともに、早期復旧を図るために平成17年度より合併前の旧国分市で開始された。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 特になし。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 被災者にとってはありがたい制度であるということで、議会等より継続を希望する声あるほか、重機を操作するオペレーター等の人件費についても対象として欲しいとの声もある。

事務事業名	災害時重機借上事業	所属部	総務部	所属課	安心安全課																									
2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																														
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 被災した宅地等の復旧を早急に行うことが可能となり、隣地へ被害拡大や2次災害の防止など生命、財産の保護のための迅速な応急対策を講じることができる。																												
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘ なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 市域における土地の保全と住民の生命、身体及び財産を保護することは市の責務である。																												
	対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 事業の支援対象が自主防災組織が結成されている地区という条件があるので、これが妥当か検討する必要がある。意図については、被災箇所が復旧されることにつながるので妥当である。																												
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? これまで被災者から要望のあったものについては、迅速かつ適正に対応している。																												
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 被災者の経済的負担が増える。																												
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 公共事業の対象とならない民有地の復旧への支援であるため、他の部署に類似事務が存在しない。																												
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 当事業の申請がなされるものは重機による作業を不可欠としているものであり、復旧には重機等でしか対応できず、重機の借上料はほぼ統一されているため、事業費を削減する手段としては事業の廃止しかない、また原材料についてもほぼ同一単価であるので削減余地はない。																												
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 事業に要した経費について申請受付、審査を行い助成を行う業務であり、事業の性格上、常に迅速に対応している。これ以上の削減余地はない。																												
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 支給要件を満たしている被災地域であれば、すべて対象となるので、公平。また、公共事業の対象とならない軽微な災害発生箇所の住民の災害復旧に要する経費の軽減を目的としており、応分の受益者負担も想定していることから、受益者負担についても公平・公正。																												
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																														
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																												
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		重機の借上げ料は支援対象となっているものの、支援要件にある自主防災組織結成の有無等は、利用者に制限がかかってしまう場合もあるので検討の必要もある。																												
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																												
		削減	維持	増加																										
成果	向上																													
	維持																													
低下	維持																													
	低下																													
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 災害に対する市の責務という基本的な考えに基づき、被災者の経済的負担の軽減と周辺への被害拡大や二次災害の防止という目的で設置された事業であるので、支給要件等については必要最低限に留め、全ての市民が対象となるような見直しを行っていく必要がある。																														

No.	120-130	事務事業名	交通安全施設整備事業	所属部	総務部
政策体系	政策名	0 1	快適で魅力あるまちづくり	所属課	安心安全課
	施策名	0 5	交通安全・防犯の推進	課長名	尾堂 守
	基本事業名	0 1	交通安全の推進	所属G(係)	交通防犯グループ
				電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠
	一般	0 2	0 1	1 4	23010	交通安全対策費	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
交通の円滑と事故防止を図るため、カーブミラー、ガードレールの設置及び修繕や、停止線、警戒標識等を設置し、これらの維持管理を行なう。また、交通危険箇所等の点検も行なう。 事業は地区自治公民館の要望をとりまとめたまちづくり実施計画書等に基づき、現地を確認後実施する。 危険箇所点検は主要交差点等を主に行なう。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 35 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
・カーブミラー・・・99基 ・危険箇所点検パトロール・・・ 12回 ・ガードレール・・・1,022m ・パイプ・・・261m ・転落防止柵・・・43m ・区画線・・・7,511m		ア 交通安全施設設置箇所数	
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ 危険箇所の点検	
・カーブミラー新設工事 ・危険箇所巡回パトロール ・ガードレール・停止線・警戒標識線新設工事		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市域		名称	
		単位	
		ア 設置要望箇所	
		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
交通安全施設が整備された状態になる。		名称	
		単位	
		ア 交通安全施設設置箇所数	
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
交通事故が起こりにくい環境となる。		名称	
		単位	
		ア 交通安全施設の設置箇所数/設置要望があった箇所数	
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	29,778	29,970	29,997	32,211	
	事業費計(A)	千円	29,778	29,970	29,997	32,211		
活動指標	ア	箇所	106	175	148	150		
	イ	回	10	12	10	10		
	ウ							
対象指標	ア	箇所	110	190	155	150		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア	箇所	106	175	148	150		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	%	96	92	96	93		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
人口増加に伴い、交通事故が多発しており、交通事故の減少を目指し、交通安全施設整備を昭和35年から始めた。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
都市化に伴い人口、自動車等の交通量も多くなり、また道路総延長距離も延びて、交通危険箇所は増加している。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
各自治公民館等から交通安全施設の設置要望が多数寄せられている。	

事務事業名	交通安全施設整備事業	所属部	総務部	所属課	安心安全課																					
2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																										
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】																								
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	カーブミラー、ガードレール等を設置して、道路交通の安全を確保することは、交通事故の起こりにくい環境とすることに結びついている。																								
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】																								
なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	交通事故のない、安全で安心・快適な交通社会を確立することは、市の責務である。																									
有効性 評価	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】																								
	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	対象については、市内の交通安全施設を整備するというので、市域を対象としているので妥当である。交通事故が起こりにくい環境にするためには交通安全施設が整備されることが大切であるから意図も妥当である。																								
	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】																								
成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	交通安全施設整備については、当該年度の予算の範囲内で実施している。そのため、要望申請があっても整備できない箇所がある。要望箇所全てを整備することにより成果の向上余地はある。																									
有効性 評価	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】																								
	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	危険箇所の改善等を怠った場合、交通事故が増加する可能性があり、市民の生命と財産に重大な影響を与える。																								
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる <input type="checkbox"/> 連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合できない <input type="checkbox"/> 連携できない																								
目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	類似の事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】																									
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																								
	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	事業は公共単価設計に基づき、競争入札により行っている。そのため、事業費の削減の余地はない。																								
効率性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																								
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	設計や入札事務は、土木関係課に依頼している。また、現地確認、危険箇所パトロールについても、事業推進上必要不可欠であり業務時間を削減する余地はない。																								
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】																								
事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	施設の整備は市域を対象としており受益機会は公平である。また、費用負担については、公共施設の整備であり受益者負担を求めるものではない。																									
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																										
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 要望箇所全てを整備するための予算が確保されていない。																								
有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																						
<改革改善案> 要望箇所をすべて整備できる予算の確保を行なう。				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																										

No.	120-140	事務事業名	交通安全専門指導員事業				所 属 部	総務部
							所 属 課	安心安全課
							課 長 名	尾 堂 守
政策体系	政策名	0 1	快適で魅力あるまちづくり				所 属 G (係)	交通防犯G
	施策名	0 5	交通安全・防犯の推進				電 話 番 号	45-5111
	基本事業名	0 1	交通安全の推進					

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	霧島市交通安全専門指導員条例
	一般	0 2	0 1	1 4	23010	交通安全対策費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
市民に正しい交通のルールを周知徹底するとともに、交通道徳の高揚を図る目的をもって、市に交通安全専門指導員を置く。 (業務内容) ・各種交通安全教室の実施。 ・交通安全教室開催申込受付事務。 ・交通相談、交通街頭指導、交通安全車による広報活動。		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 47 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 事務事業の概要と同様		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
20年度計画(20年度に計画している主な活動) 前年度と同様		ア	教室開催回数 回
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市民		イ	教室受講者数 人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 交通安全意識が高まる。		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 交通ルール・マナーを守る。		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		ア	人口 人
		イ	交通弱者数 人
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		ア	交通教室受講者数 / 交通弱者数 %
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		ア	交通事故発生件数 件
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	7,217	7,217	7,217	7,383	
	事業費計(A)	千円	7,217	7,217	7,217	7,383		
活動指標	ア	回	154	188	195	200		
	イ	人	18,235	25,418	22,142	25,000		
	ウ							
対象指標	ア	人	127,615	127,773	127,450	128,383		
	イ	人	41,310	41,633	41,583	41,500		
	ウ							
成果指標	ア	%	44	61	53	60		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	件	1,003	1,077	1,044	1,000		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?特に変化なし	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?特になし	

事務事業名	交通安全専門指導員事業	所属部	総務部	所属課	安心安全課																				
2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																									
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 交通安全専門指導員により交通安全教室を開催したり、広報活動したりすることにより、市民の交通安全意識が高まることは、市民が交通ルール・マナーを守ることに結びついている。																							
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 市民の安心安全に係わる事業なので、市が行う必要がある。																							
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 霧島市民全体を対象としているので、対象は適切である。また、交通安全専門指導員による様々な取組みによって市民の交通安全意識を高め、交通ルールやマナーを身につけてもらうための事業なので、意図も適切である。																							
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 啓発活動や交通安全教室の回数を増やすことにより成果の向上が期待できると思う。																							
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 指導員制度を廃止すると、市民への交通道德教育に多大な影響を与えるとともに、また、交通事故を減少させるためにも欠かせない存在であると思われる。																							
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 類似事業なし。																							
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 市・警察・交通安全協会が一体となり交通教室等を実施していることにより、削減の余地はなし。																							
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 交通安全教室等は、嘱託員(4名)で対応している。																							
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 市民が対象であることから受益者負担はない。																							
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																									
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		交通専門指導員(4名)は、嘱託職員である。 交通安全教室の回数を増やすことにより、成果の向上が期待できる。																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																						
< 改革改善案 >			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																									

No.	120-150	事務事業名	交通事故防止指導事業				所 属 部	総務部	
			政策体系	政策名	0 1	快適で魅力あるまちづくり		所 属 課	安心安全課
				施策名	0 5	交通安全・防犯の推進		課 長 名	尾 堂 守
				基本事業名	0 1	交通安全の推進		所 属 G (係)	交通防犯グループ
						電 話 番 号	45-5111		

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠
	一般	0 2	0 1	1 4	23010	交通安全対策費	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
・学校周辺の主要交差点における交通街頭指導を行うことにより、市民及び交通弱者が交通事故に遭うことを防ぐ。 交通街頭指導は安心安全課職員以外にも、自治公民館や学校PTAといった各種団体のボランティアや警察、交通安全協会の協力も得ながら行っている。 ・街頭キャンペーン、広報啓発活動の実施。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 39 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)		ア 交通街頭指導回数	回
各季交通安全運動期間中における交通街頭指導の実施。 街頭キャンペーン、広報啓発活動。		イ	
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		ウ	
前年度と同様			
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
・市民		名称	単位
・交通弱者(児童・生徒・高齢者)		ア 人口	人
		イ 交通弱者数	人
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
交通街頭指導により交通事故に遭わず安全に通行できる。		名称	単位
		ア 交通弱者事故発生件数 / 交通事故発生件数	%
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
交通ルール・マナーを守る。		名称	単位
		ア 交通事故発生件数	件
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	30	30	30	30	
	事業費計 (A)	千円	30	30	30	30		
活動指標	ア	回	100	90	90	100		
	イ							
	ウ							
対象指標	ア	人	127,615	127,773	127,450	128,383		
	イ	人	41,310	41,633	41,583	41,600		
	ウ							
成果指標	ア	%	44	44	41	40		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	件	1,003	1,077	1,044	1,000		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
各季交通安全運動期間中における具体的活動として、昭和39年頃から交通街頭指導の取組みが始まった。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
特に変化なし
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
特になし

事務事業名	交通事故防止指導事業	所属部	総務部	所属課	安心安全課																					
2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																										
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?																								
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?																								
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?																								
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?																								
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?																								
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 交通安全教室事業 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?																								
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)																								
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)																								
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?																								
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																										
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		交通街頭指導の回数を増やし、交通弱者の通行をこれまで以上に見守ることで、成果の向上が期待できる。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																										

No.	120-160	事務事業名	交通安全母の会運営支援事業	所 属 部	総務部			
政策体系	政策名	0 1	快適で魅力あるまちづくり	所 属 課	安心安全課			
	施策名	0 5	交通安全・防犯の推進	課 長 名	尾 堂 守			
	基本事業名	0 1	交通安全の推進	所 属 G (係)	交通防犯G			
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱 (別表第1)
	一般	0 2	0 1	1 4	23010	交通安全対策費		

事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
霧島市交通安全母の会が円滑な活動を行えるよう、補助金を交付する。 霧島市交通安全母の会とは、交通安全に果たす母親の役割の重要性を認識し、地域における母親達の連帯感を深め、自主的な交通安全活動を推進することを目的とする。会員は、PTA組織、婦人会員。 主な取組みとして、交通安全街頭キャンペーンへの参加、全国キャラバン隊引継ぎ式、各小学校周辺交差点における子ども登校時の交通立哨活動、県下一斉飲酒運転根絶運動、子育て・高齢者訪問事業を行っている。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (S 55 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標	活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)		
手段 (主な活動)	名称	単位	
20年度実績 (20年度に行った主な活動)	ア 補助した団体数	団体	
事務事業の概要と同様。	イ		
21年度計画 (21年度に計画している主な活動)	ウ		
前年度と同様			
対象 (誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	対象指標 (対象の大きさを表す指標)	名称	単位
市民、交通弱者 (児童・生徒・高齢者)	ア 市民	人	
< 補助金交付先 > 霧島市交通安全母の会	イ 交通安全母の会の会員数	人	
< 補助対象活動 > 交通安全母の会の運営に関する経費	ウ		
意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか)	成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	名称	単位
交通安全意識が高まる。	ア 交通弱者事故発生件数	件	
	イ		
	ウ		
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (結果の達成度を表す指標)	名称	単位
交通ルール・マナーを守る。	ア 交通事故発生件数	件	
	イ		
	ウ		

(2) 総事業費・指標等の推移	単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)	
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円			
		都道府県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円			
		一般財源	千円	604	653	653
	事業費計 (A)	千円	604	653	653	623
活動指標	ア 団体	1	1	1	1	
対象指標	ア 人	127,615	127,773	127,450	128,383	
	イ 人	11,089	11,140	12,186	12,000	
	ウ					
成果指標	ア 件		158	134	130	
	イ					
	ウ					
上位成果指標	ア 件	1,003	1,077	1,044	1,000	
	イ					
	ウ					

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 「交通安全は家庭から」という取組み支援するため、昭和55年から開始。
事務事業を取り巻く状況 (対象者や根拠法令等) はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 特に変化なし
この事務事業に対して関係者 (住民、議会、事業対象者、利害関係者等) からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし

事務事業名	交通安全母の会運営支援事業	所属部	総務部	所属課	安心安全課																				
2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																									
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?																							
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘ なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?																							
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘ 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?																							
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘ 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?																							
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?																							
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 霧島市、警察、交通安全協会、交通安全市民運動推進協議会で取組んでいる、交通安全に関する各種事務事業 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘ 交通安全に関し、交通安全母の会・市・警察・交通安全協会・交通安全市民運動推進協議会と、これまでも連携して取組んでいる。今後とも連携していく。																							
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)																							
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)																							
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?																							
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																									
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		今後とも交通安全母の会を支援し、連携して交通安全意識の向上に取組む。																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																									

政策体系	No.	120-170	事務事業名	霧島・横川地区交通安全協会運営支援事業	所属部	総務部	
	政策名	01	快適で魅力あるまちづくり	所属課	安心安全課		
	施策名	05	交通安全・防犯の推進	課長名	尾堂 守		
	基本事業名	01	交通安全の推進	所属G(係)	交通防犯G	電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠
	一般	02	01	15	23010	交通安全対策費	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
霧島地区交通安全協会と横川地区交通安全協会が円滑に活動できるよう、補助金を交付する。 霧島地区交通安全協会と横川地区交通安全協会とは、交通安全の推進を目的として設立された任意団体。市民を会員として運営されている団体である。主な取組みとして、各季交通安全運動期間中の街頭キャンペーン、街頭立哨、広報啓発活動(交通安全運動チラシの作成)を行っている。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 23 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様。	ア 補助した協会数	団体
21年度計画(21年度に計画している主な事業)	前年度と同様。	イ 街頭キャンペーン	回
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	市民、交通安全協会会員 <補助金交付先> 霧島地区交通安全協会、横川地区交通安全協会 <補助対象活動> 協会の運営に関する経費	ウ 街頭立哨	日
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	交通安全意識が高まる。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	交通ルール・マナーを守る。	名称	単位
		ア 市民	人
		イ 交通安全協会会員	人
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 交通事故発生件数	件
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 交通事故発生件数	件
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	2,429	2,217	1,649	1,485		
		事業費計(A)	千円	2,429	2,217	1,649	1,485		
活動指標	ア 団体		2	2	2	2			
	イ 回		4	4	4	4			
	ウ 日		20	20	20	20			
対象指標	ア 人		127,615	127,773	127,450	128,383			
	イ 人		44,360	36,176	38,732	38,800			
	ウ								
成果指標	ア 件		1,003	1,077	1,044	1,000			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア 件		1,003	1,077	1,044	1,000			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
霧島地区交通安全協会: 昭和23年4月に任意団体として設立され、その結成と共に、協会、各支部に補助金の交付を開始した。 横川地区交通安全協会: 昭和38年2月に任意団体として設立され、その結成と共に、横川、牧園支部に補助金の交付を開始した。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
年々会員数が減少の傾向にある。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
特になし

事務事業名	霧島・横川地区交通安全協会運営支援事業	所属部	総務部	所属課	安心安全課																
2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?																			
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?																			
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?																			
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?																			
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?																			
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 霧島市、警察、交通安全母の会、交通安全市民運動推進協議会で取組んでいる、交通安全に関する各種事務事業 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 交通安全に関し、市・警察・交通安全協会・交通安全母の会・交通安全市民運動推進協議会と、これまでも連携して取組んでいる。今後とも連携していく。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷																			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)																			
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)																			
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?																			
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																					
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		今後とも交通安全協会を支援し、連携して交通安全意識の向上に取組む。																			
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持 低下			
		コスト																			
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持 低下																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																					

No.	120-200	事務事業名	交通安全市民運動推進協議会支援事業			所 属 部	総務部	
						所 属 課	安心安全課	
			政策名	0	1	快適で魅力あるまちづくり	課 長 名	尾 堂 守
			施策名	0	5	交通安全・防犯の推進	所 属 G (係)	交通防犯G
政策体系	基本事業名	0	1	交通安全の推進	電 話 番 号	45-5111		

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱 (第2条別表第1)
	一般	0	2	0	1	1		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
市民総ぐるみの交通安全を目的に組織されている交通安全市民運動推進協議会が円滑な活動を行えるように補助金を交付する事務で、安心安全課が事務局を担当している。 <協議会活動内容> 交通安全運動期間中の交通街頭キャンペーンや交通立哨指導、交通安全啓発活動、新入学児童へのランドセルカバー配布事業、霧島市無事故・無違反180日コンテストの実施(市内の運転免許を有する者が3名1組でチームを結成し、チーム全員が180日間無事故・無違反を達成することを目標に安全運転を実施して、参加者自身の交通安全意識を高める)。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 46 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様。	ア 交通安全街頭キャンペーン実施数	回
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ 霧島市無事故・無違反180日コンテストの参加者数	人
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	市民 <補助金交付先> 霧島市交通安全市民運動推進協議会 <補助対象活動> 協議会交通安全推進事業	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	交通安全意識が高まる。	名称	単位
結果(どんな結果に結び付けるのか)	交通ルール・マナーを守る。	ア 人口	人
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア コンテスト参加者数/免許保持者数	%
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 交通事故発生件数	件
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)			
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	2,031	1,643	1,628	1,260		
	事業費計 (A)	千円	2,031	1,643	1,628	1,260			
活動指標	ア 回		6	10	10	10			
	イ 人		1,098	1,647	2,073	2,300			
	ウ								
対象指標	ア 人		127,615	127,773	127,450	128,383			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア %		1.3	1.0	2.0	2.0			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア 件		1,003	1,077	1,044	1,000			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和46年の国分市交通安全市民運動推進協議会設立に伴い開始した。霧島市無事故・無違反180日コンテストについては、市長のマニフェストにより、平成18年度から開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
県内の他の市町村と比べ、交通事故の件数が多い。(国分、隼人地区)	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし。	

事務事業名	交通安全市民運動推進協議会支援事業	所属部	総務部	所属課	安心安全課																									
2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																														
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 交通安全市民運動推進協議会が活動することによって、市民の交通安全意識が高まり、交通ルールやマナーを守ることに結びつく。																												
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 市民の交通安全意識を高め、交通事故のない安心安全なまちをつくっていくことは市の責務であり、そのような取組みを行っている団体を支援することは妥当である。																												
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 霧島市が交通事故のない安心安全なまちとなるには、全市民の交通安全意識が高まるのが大切であることから、対象・意図ともに適切。																												
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 県が同様な事業を実施しているため参加者の増は見込めない。																												
	廃止・休止の成果への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 県が実施している事業への積極的な参加を促すことで、廃止しても影響は無い。																												
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? ↳ 警察、自動車安全センターで取り組んでいるマナーアップ鹿児島～交通安全コンテストへの参加。																												
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 180日コンテストの参加費用として1人700円必要であり、賞品予算の削減など、これ以上の削減は、参加者の減をまねき、成果を下げることにつながるため、削減余地はない。																												
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 業務としては、補助金交付の事務や精算事務がある。補助金交付の事務については、市として決めている手順により事務を行っているため、削減余地はない。また、精算事務についても、同理由により、削減余地はない。																												
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 交通安全市民運動推進協議会の活動は、全市民を対象としているので、受益機会は公平。また、受益者負担は求めている。																												
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																														
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																												
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		↳ 霧島市無事故・無違反180日コンテストについて、参加者を増やす取り組みを行う必要がある。																												
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																												
		削減	維持	増加																										
成果	向上																													
	維持																													
低下	維持																													
	低下																													
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																														

政策体系	No.	120-230	事務事業名	安全灯設置事業	所 属 部	総務部
	政策名	0 1	快速で魅力あるまちづくり	所 属 課	安心安全課	
	施策名	0 5	交通安全・防犯の推進	課 長 名	尾 堂 守	
	基本事業名	0 2	防犯活動の推進	所 属 G (係)	交通防犯グループ	
				電 話 番 号	45-5111	

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠
	一般	0 2	0 1	1 4	23015	防犯対策費	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
生徒の通学路の安全を確保するため、主に集落間の明かりのない場所に安全灯を設置する。 事務概要 ・市内各中・高校からの設置要望書の取りまとめ事務や要望箇所の現地調査 ・設計・施工・入札業務(建設部建築住宅課が行う) ・道路占用許可申請・NTT柱併設置占用許可申請事務	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 17 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標	S	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		
手段(主な活動)	H	名称	単位	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		ア	安全灯の設置数	基
霧島市内に57基設置。 (内訳)国分:10基、隼人:9基、溝辺:10基、横川:18基、霧島:10基		イ		
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		ウ		
霧島市内に40基設置予定。 (内訳)国分:14基、隼人:15基、横川:11基)				
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)		
市域(市内通学路)		ア	安全灯の設置要望箇所数	基
		イ		
		ウ		
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		
安全灯が設置される。		ア	安全灯設置箇所数 / 安全灯の設置要望箇所数	%
		イ		
		ウ		
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		
犯罪の起きにくい環境となる。		ア	防犯設備の設置箇所数 / 設置要望があった箇所数	%
		イ		
		ウ		

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)		
投入量	事業内訳	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円		3,815			
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	5,111	830	2,205	2,205	
	事業費計(A)	千円	5,111	4,645	2,205	2,205		
活動指標	ア	基	124	63	57	40		
	イ							
	ウ							
対象指標	ア	基	210	80	71	40		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア	%	59.0	78.8	80.3	100		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	%	76	90	98	100		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 生徒の通学路を対象に通学者が帰宅時に犯罪に巻き込まれないよう、平成17年度から設置を開始する。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 声かけ事案等が大幅に減少した。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 市内中学校等から、引き続き安全灯設置の要望が寄せられている。

事務事業名	安全灯設置事業	所属部	総務部	所属課	安心安全課																
2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価 【担当課長記入欄】																					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 安全灯を設置して明かりを確保することは、犯罪の起こりにくい環境となることに結びつく。																			
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 市内の暗がりなど、犯罪が起きやすい環境の解消は市が行うべきである。																			
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 市内の集落間の暗がりといった犯罪が起きやすい場所を対象としており、対象については適切。また、そのような暗がりを解消するために事業を実施しており、意図も適切。																			
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 安全灯は、当該年度の予算の範囲内で設置している。そのため、要望があっても設置できない箇所がある。要望箇所全てに設置することにより、成果の向上余地はある。																			
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 安全灯の設置ができなくなり、市内の暗がりといった犯罪が起きやすい環境を解消できなくなる。																			
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↷ 防犯灯設置事業(霧島市防犯組合連合会) <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 防犯灯は、集落内の暗がりをなくし、犯罪を未然に防止することを目的として設置されている。集落間の暗がりをなくし、犯罪を未然に防止することを目的としている安全灯設置事業と併せて実施していくことにより、霧島市内の暗がりの解消につなげることができる。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷																			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業は公共単価の設計に基づき、各地区分を一括して競争入札により執行している。そのため、事業費の削減余地はない。																			
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 設計事務は、建築住宅課に依頼している。また、道路占用許可申請や入札事務は決められた手順に基づき行っている。設置要望のとりまとめや要望箇所の現地調査については、必要不可欠な業務であり削減の余地はない。																			
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 安全灯の設置は市域を対象としており受益機会は公平である。また、費用負担については、公共施設の整備であり受益者負担を求めるものではない。																			
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																					
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		今後とも防犯灯設置事業と連携し、市内の暗がりをなくし、犯罪を未然に防止するよう努める。ただ、要望箇所全てを整備するための予算が確保されていない。																			
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>/</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>/</td> <td>/</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			維持		/	低下	/	/
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持		/																		
	低下	/	/																		
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																					

No.	120-240	事務事業名	市防犯組合連合会運営事業				所属部	総務部
							所属課	安心安全課
政策体系	政策名	01	快適で魅力あるまちづくり				課長名	尾堂 守
	施策名	05	交通安全・防犯の推進				所属G(係)	交通防犯グループ
	基本事業名	02	防犯活動の推進				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	02	01	15	23015	防犯対策費		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							霧島市安心安全まちづくり条例、霧島市防犯組合連合会規約、霧島市防犯組合連合会防犯灯設置補助基準、霧島市防犯組合連合会防犯灯設置事業実施要綱	
市内の暗がり無くし、市民が安心して暮らせる安全な街づくりを目指し、自治会が集落内に防犯灯を設置する事業費の補助金を霧島市防犯組合連合会に交付する。設置した防犯灯の電気料等の維持管理は自治公民館、自治会が行う。 <霧島市防犯組合連合会の組織概要> ・各地区自治公民館を単位として組織された7地区(旧市町ごと)の防犯組合連絡協議会を一元化した団体。(事務局:安心安全課) <主な事務> 各地区自治公民館長へ設置要望の取りまとめ依頼や要望箇所の現地調査、道路・NTT柱併設等設置占用許可申請手続き事務、入札業務。							事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (S 48年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

手段(主な活動)	
20年度実績(20年度に行った主な活動)	霧島市内に防犯灯186基を設置した。 (内訳)国分:51基、溝辺:22基、横川:16基、牧園:22基、霧島:10基 隼人:53基、福山:12基
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	霧島市内に防犯灯148基を設置予定。 (内訳)国分:45基、溝辺:13基、横川:16基、牧園:11基、霧島:7基 隼人:50基、福山:6基
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	地域 補助金交付先 霧島市防犯組合連合会 補助対象活動 防犯灯の設置費
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	防犯灯が設置される。
結果(どんな結果に結び付けるのか)	犯罪の起きにくい環境となる。

活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
名称	単位
ア 防犯灯の設置数	基
イ	
ウ	
対象指標(対象の大きさを表す指標)	
名称	単位
ア 防犯灯設置要望数	箇所
イ	
ウ	
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
名称	単位
ア 防犯灯設置数/設置要望数	%
イ	
ウ	
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
名称	単位
ア 防犯設備の設置箇所数/設置設置要望があった箇所数	%
イ	
ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	3,697	4,518	4,403	4,279		
	事業費計(A)	千円	3,697	4,518	4,403	4,019			
活動指標	ア 基		204	201	186	150			
	イ								
	ウ								
対象指標	ア 箇所		224	212	190	150			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア %		91.1	94.8	97.9	100			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア %		76	90	98	92			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	市街化が進むなか集落内の暗がりをなくして、犯罪の未然防止を図ることを目的として、昭和48年から事業を開始した。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	新興住宅地や郊外の開発に伴い、防犯灯を必要とする地域が増加している。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	市民から防犯灯設置の要望が寄せられている。

事務事業名	市防犯組合連合会運営事業	所属部	総務部	所属課	安心安全課																				
2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																									
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 防犯灯を設置して明かりを確保することは、犯罪の起こりにくい環境となることに結びつく。																							
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 霧島市防犯組合連合会は、集落内の暗がりといった犯罪が起きやすい環境を解消するために防犯灯を設置しており、安心安全なまちづくりを目指している霧島市として行うべき事業である。																							
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 集落内の暗がりといった犯罪が起きやすい場所を対象としており、対象については適切。また、そのような暗がりを解消するために事業を実施しており、意図も適切。																							
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 設置要望が多く、予算の関係で全てを設置できない状況である。要望箇所全てに設置することにより、成果の向上余地はある。																							
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 防犯灯の設置ができなくなり、市内の暗がりといった犯罪が起きやすい環境を解消できなくなる。																							
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↳ 安全灯設置事業 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 安全灯は、集落間の暗がりをなくし、犯罪を未然に防止することを目的として設置されている。集落内の暗がりをなくし、犯罪を未然に防止することを目的としている防犯灯の設置と併せて実施していくことにより、霧島市内の暗がりの解消につなげることができる。																							
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 設置事業は各地区防犯組合ごとに実施しているため、今後、資機材の統一化を図ることにより、事業費を削減できる余地はある。																							
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 設計事務は、建築住宅課に依頼している。また、道路占用許可申請や入札事務は決められた手順に基づき行っている。設置要望のとりまとめや要望箇所の現地調査については、必要不可欠な業務であり削減の余地はない。																							
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 防犯灯の設置は市域を対象としており受益機会は公平である。また、受益者負担については、主に設置後の防犯灯を利用する、防犯灯を設置した集落の自治公民館や自治会が維持管理費など応分の負担をしているので、公平・公正である。																							
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																									
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		今後とも安全灯設置事業と連携し、市内の暗がりをなくし、犯罪を未然に防止するよう努める。ただ、要望箇所全てを整備するための予算が確保されてない。また、各地区ごとに選定している資機材を統一化することにより、事業費の削減を図る必要がある。																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																									

No.	120-250	事務事業名	防犯パトロール隊支援事業	所属部	総務部
				所属課	安心安全課
政策体系	政策名	01	快適で魅力あるまちづくり	課長名	尾堂 守
	施策名	05	交通安全・防犯の推進	所属G(係)	交通防犯G
	基本事業名	02	防犯活動の推進	電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	霧島市安心安全まちづくり条例 防犯パトロール支援事業実施要綱
	一般	02	01	15	23015	防犯対策費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
現在、市内各地域で(防犯パトロール隊の活動について記載)を行っているボランティア団体「防犯パトロール隊」が結成されている。この事業では、防犯パトロール隊の活動支援として、パトロール用品を支給している。また、防犯パトロール隊が未結成の地域には結成してもらうよう働きかけている。 ・パトロール用品の支給(腕章、帽子、タスキ、のぼり旗等) ・支援対象…自治会内10人以上で組織し、一年以上活動を継続できる非営利団体。 ・支援内容…1団体5万円を上限。 市内防犯パトロール隊組織団体数…86団体(H21.3.31現在) 8,940人		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 18 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と目標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 事務事業の概要と同様 21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様		名称 ア 防犯パトロール用品支援団体数 単位 団体	名称 ア 人口 イ 防犯パトロール隊が未結成の地域 単位 人 自治会
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市民 防犯パトロール隊が未結成の地域		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 防犯意識が高まる。 防犯パトロール隊が結成される。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	名称 ア 地域等の防犯活動に取り組んでいる市民の割合 イ 防犯パトロール隊が結成できた地域(累計) 単位 % 自治会
結果(どんな結果に結び付けるのか) 犯罪の起きにくい環境となる。		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称 ア 地域等の防犯活動に取り組んでいる市民の割合 単位 %	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)	
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円				
		都道府県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	1,447	1,280	194	200
		事業費計(A)	千円	1,447	1,280	194	200
活動指標	ア 団体		58	12	5	5	
対象指標	ア 人		127,615	127,773	127,450	128,383	
	イ 自治会		673	161	143	100	
成果指標	ア %			3.9	3.1	7.0	
	イ 自治会		512	530	573	593	
上位成果指標	ア %			3.9	3.1	7.0	
	イ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 自らのまちは自らで守ろうという防犯パトロール隊の活動を積極的に支援し、犯罪のないまちづくりを目指すため、平成18年度から開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 防犯パトロール隊の新規結成数が減少傾向にある。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし。	

事務事業名	防犯パトロール隊支援事業	所属部	総務部	所属課	安心安全課																					
2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																										
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?																								
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘ なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?																								
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?																								
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?																								
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?																								
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?																								
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)																								
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)																								
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?																								
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																										
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		防犯パトロール隊未結成の地域がある。このような地域で防犯パトロール隊を結成していく必要がある。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																										

No.	120-270	事務事業名	防犯協会運営支援事業				所 属 部	総務部
政策体系	政策名	0 1	快適で魅力あるまちづくり				所 属 課	安心安全課
	施策名	0 5	交通安全・防犯の推進				課 長 名	尾堂 守
	基本事業名	0 2	防犯活動の推進				所属G(係)	交通防犯G
予算科目	会計	目	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 2	0 1	1 5	23015	防犯対策費		
							電話 番号	45-5111

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
犯罪のない明るく住みよい霧島市の実現のため防犯活動を推進している霧島地区防犯協会及び北始良地区防犯組合連合会に対し負担金を交付する。 霧島地区防犯協会及び北始良地区防犯組合連合会は、防犯活動を推進している任意団体で、事務局は霧島・横川の各警察署内にある。主な活動として、自主防犯パトロール隊による地域活動、夏まつりでの合同街頭パトロール、防犯に関する啓発・情報の提供(かけはし、安全のしるべ広報誌、子ども安全連絡表、犯罪発生状況等)、全国地域安全運動の推進、街頭キャンペーン、青少年の健全育成事業(「防犯柔道大会」「防犯少年綱引き大会」)、市・警察合同による「霧島市あんしん・あんぜん検定」など。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 49 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		手段(主な活動)		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)									
20年度実績(20年度に行った主な活動)		事務事業の概要と同様。		<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 負担金を交付した団体数</td><td>団体</td></tr> <tr><td>イ 「霧島市あんしん・あんぜん検定」受検者数</td><td>名</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>		名称	単位	ア 負担金を交付した団体数	団体	イ 「霧島市あんしん・あんぜん検定」受検者数	名	ウ	
名称	単位												
ア 負担金を交付した団体数	団体												
イ 「霧島市あんしん・あんぜん検定」受検者数	名												
ウ													
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		前年度と同様		<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 市民</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>		名称	単位	ア 市民	人	イ		ウ	
名称	単位												
ア 市民	人												
イ													
ウ													
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		市民、防犯協会会員 <負担金交付先>霧島地区防犯協会、北始良地区防犯組合連合会 <負担対象活動>協会の運営に関する経費		<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 地域等の防犯活動に取り組んでいる市民の割合</td><td>%</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>		名称	単位	ア 地域等の防犯活動に取り組んでいる市民の割合	%	イ		ウ	
名称	単位												
ア 地域等の防犯活動に取り組んでいる市民の割合	%												
イ													
ウ													
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		防犯意識が高まる。		<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 地域等の防犯活動に取り組んでいる市民の割合</td><td>%</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>		名称	単位	ア 地域等の防犯活動に取り組んでいる市民の割合	%	イ		ウ	
名称	単位												
ア 地域等の防犯活動に取り組んでいる市民の割合	%												
イ													
ウ													
結果(どんな結果に結び付けるのか)		防犯活動に取り組む。		<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 地域等の防犯活動に取り組んでいる市民の割合</td><td>%</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>		名称	単位	ア 地域等の防犯活動に取り組んでいる市民の割合	%	イ		ウ	
名称	単位												
ア 地域等の防犯活動に取り組んでいる市民の割合	%												
イ													
ウ													

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業内訳	財源	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	7,625	7,562	7,564	7,525	
事業費計(A)		千円	7,625	7,562	7,564	7,525		
活動指標		団体名	2	2	2	2		
対象指標		人	127,615	127,773	127,450	128,383		
成果指標		%		3.9	3.1	7.0		
上位成果指標		%		3.9	3.1	7.0		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
犯罪のない明るい社会実現を目指すため、霧島地区防犯協会(旧国分地区防犯組合連絡協議会)は昭和49年、北始良防犯組合連合会は平成6年に設立され、両団体への負担金の交付を開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
特に変化なし。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし。	

事務事業名	防犯協会運営支援事業	所属部	総務部	所属課	安心安全課																										
2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																															
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】																													
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	負担金の交付を受けた防犯協会が活動することによって、市民や防犯協会会員の防犯意識が高まり、防犯活動に取組むことに結びつく。																													
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】																													
なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	市民の防犯意識を高め、安全で安心して暮らせるまちをつくっていくことは市の責務であり、そのような取組みを行っている団体を支援することは妥当である。																														
対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】																														
対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	霧島市が犯罪のない安心安全なまちとなるには、防犯協会会員をはじめ、全市民の防犯意識が高まるのが大切であることから、対象・意図ともに適切。																														
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】																													
	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	防犯協会には様々な取組みをこれまでどおり実施してもらい、併せて、霧島市と合同で取組んでいる「霧島市あんしん・あんぜん検定」の受検者を増やして市民の防犯意識を高めることにより、成果の向上が期待できる。																													
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】																													
事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	防犯協会の取組みが縮小し、市民の防犯に対する意識の向上や取組みの機会が減少する恐れがある。																														
類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) 霧島市や警察で取組んでいる、防犯に関する各種事務事業 <input type="checkbox"/> 統廃合できる <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合できない <input type="checkbox"/> 連携できない																														
目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	防犯に関し、防犯組合・市・警察と、これまで連携して取組んでいる。今後とも連携していく。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】																														
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																													
	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	支援分担金の算出方法として、人口×50円としているため、削減余地がない。																													
人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																														
やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	業務としては、分担金支援事務がある。分担金支援事務については、市として決めている手順により事務を行っているため、削減余地はない。																														
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】																													
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	防犯組合の活動は、全市民を対象としているので、受益機会は公平。また、受益者負担は求めている。																													
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																															
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																													
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	今後とも防犯組合を支援し、連携して防犯意識の向上や防犯活動に取組む。また、市と合同で実施している「霧島市あんしん・あんぜん検定」の受検者を増やす取組みを行う必要がある。																													
有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<改革改善案> 「霧島市あんしん・あんぜん検定」の受検者を増やすため、市内各企業への積極的な広報啓発に取り組む。				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																													
		削減	維持	増加																											
成果	向上																														
	維持																														
低下	維持																														
	低下																														
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																															